

シリーズ第三回

持続可能な社会システム実現のための 科学技術イノベーション政策をどう設計していくか ～アフターコロナ時代に向けて～

2022.3.7 (月) 18:30～20:00

無料 [定員 500人]

Zoomにて開催

<https://www.scirex-openforum.info/>

シリーズ第三回概要

コロナ禍や脱炭素といった社会課題の登場は、20世紀までの成長志向の社会からレジリエントで持続可能な社会へと向かう歴史的潮流の変化を示しています。現代の複雑化した社会課題を解決するためには、第6期科学技術・イノベーション基本計画で記載されている総合知が必要とされ、自然科学と人文社会科学の知識融合を促すように政策の方向性も変化してきました。このような歴史的潮流の中で、持続可能な社会システムを実現するために必要な科学技術・イノベーション政策とは何か?どのように政策をデザインしていくべきか?科学技術に関する歴史認識に基づき、将来の発展を見据えた科学技術・イノベーション政策を明らかにする必要があります。

そこで本セッションでは「科学技術・イノベーション政策の役割とは何か?」の根本的な問いに立ち返った上で、行政・学術研究・産業界それぞれの観点から、歴史的潮流の中での科学技術をどのように認識するか、科学技術・イノベーション政策をどのように設計すべきかについて話題提供を行い、その後パネルディスカッションを通じてあるべき政策デザインを明らかにします。

パネリスト(登壇順)



黒田 昌裕

科学技術振興機構・研究開発戦略センター/特任フェロー
慶応義塾大学/名誉教授



富山 和彦

株式会社経営共創基盤IGPIグループ会長



坂本 修一

文部科学省大臣官房審議官
(研究振興局及び高等教育政策連携担当)



江端 新吾

国立大学法人東京工業大学戦略的経営オフィス/教授

コメンテーター



赤池 伸一

文部科学省科学技術・学術政策研究所/上席フェロー



池内 健太

政策研究大学院大学SciREXセンター/特任フェロー
独立行政法人経済産業研究所/上席研究員(政策エコノミスト)

モデレータ

SciREXオープンフォーラム2022

政策科学の新たな挑戦 ー第6期科学技術イノベーション基本計画の実効性の確保に向けてー

全体概要

2021年、日本の科学技術イノベーション政策は、新しいスタートをきりました。

昨年3月に閣議決定された第6期科学技術・イノベーション基本計画では、Society5.0の未来社会像として「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」を掲げています。

また、その実現に向けては、自然科学のみならず人文・社会科学も含めた「総合知」による社会変革と、知・人への投資の好循環を起こしていくこととしています。学際研究の推進や若手研究人材の育成については繰り返し議論がなされてきましたが、これまでの成果に加え、今後何に取り組むことが求められているのでしょうか。日本の科学技術力の再生とグローバルな視点も含めた社会課題への貢献に向けて、新たに挑戦すべき課題はどこにあるのでしょうか。

本フォーラムでは、目指す未来社会に対し、科学技術イノベーション政策の科学がどのように貢献できるのか、共に考えていきます。

スケジュール

2022年2月3日(木)	19:00~20:30	東京大学
第1回	第6期科学技術・イノベーション基本計画を支える宇宙技術	
2022年2月10日(木)	20:00~21:30	GRIPS
第2回	バイデン政権の科学技術イノベーション政策ーScience Integrityの視点ー	
2022年3月7日(月)	18:30~20:00	GRIPS *Session in Japanese
第3回	「持続可能な社会システム実現のための科学技術イノベーション政策をどう設計していくか~アフターコロナ時代に向けて~」	
2022年3月15日(火)	18:30~20:00	GRIPS *Session in Japanese
第4回	「研究力強化への処方箋を実効性あるものとするために」	

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO等マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、多様な方々のご参加をお待ちしております。